

<Summary>

- イ) 保健医療分野の市場分析と実践
- ロ) 運輸分野の市場分析と実践
- ハ) 水道分野の市場分析と実践

【本レポートの狙い】

最近「BOP ビジネス」とは何かという議論を頻繁に目にするようになった。しかし、BOP 層の支出傾向や市場分析を実証的に紹介しているものは多くない。詳細な市場分析を行い、BOP 層の支出傾向を知ることは、実際に私たちが彼らのニーズに合った製品・サービスを考案するために役立つ。そしてこの分析はより「BOP ビジネス」の実情を明らかにし、多くの人々を議論に巻き込んでいくためにも有効であると考えます。

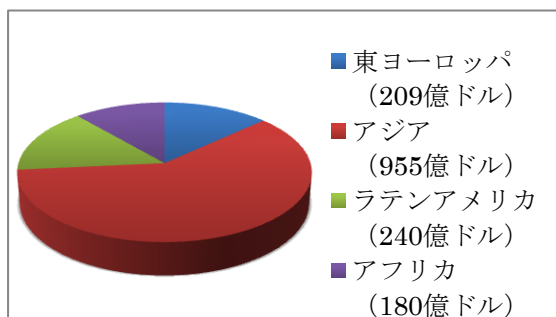
今回は保健医療・運輸・水道分野を取り上げる。その市場の詳細な分析と課題を示し、現在実践されているビジネス・モデルをいくつか紹介する。

※本レポートは『The next 4 billion』が行った調査に基づき、それをわかりやすくまとめた。そのため本レポートに記載されている支出データ、市場規模等の数字は世界資源研究所・国際金融公社が調査した方法による。

【イ. 保健医療分野】: 推計 1584 億ドル

<全世界帯の市場規模における、BOP 市場の割合>

【図① 保健医療分野地域別 BOP 市場規模】



(『The next 4 billion』を参考に筆者作成)

- ・アジアでは、保健医療市場の 85% を BOP が占めている。
- ・アフリカでは、総人口に占める BOP の割合が 95% である一方、全市場規模に占める BOP の割合は 54% である。
- ・東ヨーロッパ、ラテンアメリカでは人口の多数を BOP 層が占めているが、シェアはそれぞれ 45%、38% にとどまっている。

<保健医療分野における課題>

- ・ 製品やサービスを手に入れるまでの交通の便・アクセスが不十分、もしくは存在しない。
⇒ 病院や診療所までの交通費、薬品やサービスの値段が高くつくことがわかると、症状がより深刻になるまで治療を受けることを待ち、低所得層は自己治療のために大方の支出を薬品に充てるⁱⁱ。

<BOPビジネス事例①> (企業URL : <http://www.cfwshops.org/>)

この課題を解決するビジネス・モデルがフランチャイズ店による販売だ。CFWshops Kenyaは独立採算のフランチャイズ64 店舗を都市部、半農村部、農村部に展開し、年間40万人の患者に必要なサービスを提供している。フランチャイズ店は政府公認の保健医療品・医薬品150 ~250 種類を1処方約0.5 米ドルで提供している。各店舗は想定する顧客ベースから歩いて1時間以内の場所に開設され、地域社会に根差した保健医療基盤を構築している。

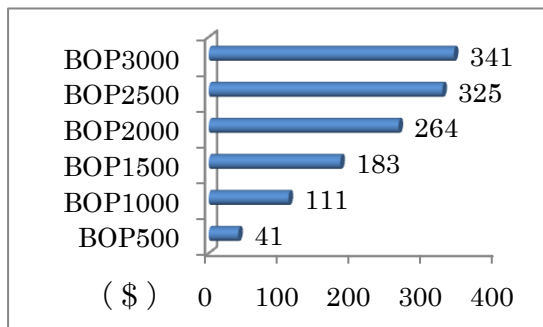
<支出傾向を見る>

- ・ BOP ビジネスの可能性を探るときに、世帯がどれくらい保健医療分野に支出しているのかという傾向を知ることが重要である。支出の傾向とはどのような製品を買うのかという傾向でなく、保健医療に各世帯がいくら支出するのか、という意味での支出傾向である。
- ⇒ ・ 商品の好みを知りニーズに合った製品・サービスを考案することも重要だが、そもそもどんな製品・サービスを購入するかは所得の大きさによって左右される。

◆ BOP 世帯の保健医療分野への支出傾向

- ・ 支出傾向は所得区分によって大きく異なる。つまり、BOP3000 と BOP500 の平均保健医療支出額の比は異なっている。例えば、ナイジェリアでは 8 : 1、スリランカで 9.5 : 1、ペルーで 6 : 1 である。
- ・ 具体的に、インドの BOP 世帯の年間の保健医療支出で見ていくことにする。

【グラフ① インドの所得区分別、BOP 世帯支出】



- ・ グラフ①からわかるように、各世帯別の支出で見れば、BOP3000の方が支出額は高い。(ここから、所得が高ければ、それだけ保健医療に支出する傾向が読み取れる。)
- ・ BOP500では、病気になっても十分な治療を受けることはままならない。

(※ 『The next 4 billion』を参考に筆者作成)

BOP ビジネス事例② (企業 URL : <http://www.aravind.org/>)

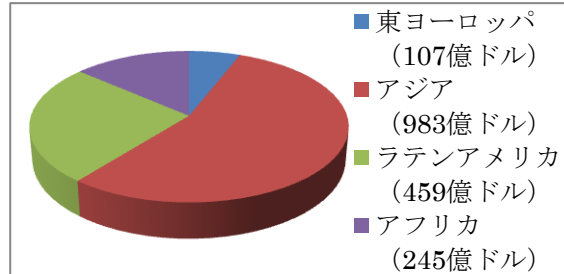
この課題を解決したのが患者によって異なる価格体系で治療を行うビジネス・モデル。オーロラボ社が人工水晶体レンズを通常価格の50分の1価格で製造し、Aravind Eye Care Hospitalで最貧困層にとって従来割高な白内障の手術を安価に提供。患者の所得別に治療費が異なり、3分の1は無償、もう3分の1は実費の3分の2を、最後の3分の1は実費以上の値段を支払う仕組みで、価格は異なれども受ける手術の質はみな同じであるところが注目に値する。独立採算で事業が成り立っている。

【ロ. 運輸分野】: 推計 1050 億ドル

<全世界の市場規模における、BOP 市場の割合>

- ・ BOP市場はアジアの運輸市場全体の63%、東ヨーロッパ市場の 41%、アフリカ市場の 39%、ラテンアメリカ市場の 28% となっている。
- ・ 地域で一括りにできない面もある。同じアフリカでも、ナイジェリアでは全運輸市場のうち BOP 市場が 98% 占める一方、南アフリカでのそれは 14% に過ぎない。

【図② 運輸分野地域別BOP市場規模】

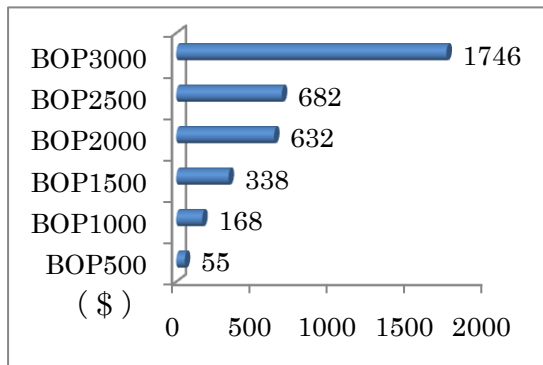


(※『The next 4 billion』を参考に筆者作成)

<支出傾向をみる>

- ・ 医療保険分野以上に運輸分野での支出傾向の格差は大きい。BOP3000 と BOP500 の運輸支出の比率は、ナイジェリアで 32 : 1、インドでは 17 : 1、ブラジルで 13 : 1、ロシアで 5 : 1 である。では、ナイジェリアの所得区分別、世帯支出を見てみよう。

【グラフ② ナイジェリアの所得区分別、BOP 世帯支出】



(※『The next 4 billion』を参考に筆者作成)

・ グラフ②からもわかるように運輸支出は所得の伸びに伴い大幅に増加している。この数字は、一台のオートバイあるいは他の輸送手段の購入とその後の維持費が関わっていると思われる。

・ BOP 層の人々は、輸送手段への支出（主にオートバイ）を生産性の向上と経済的選択肢の幅を広げるために重要視している。

⇒しかし低所得層には手が届かない。

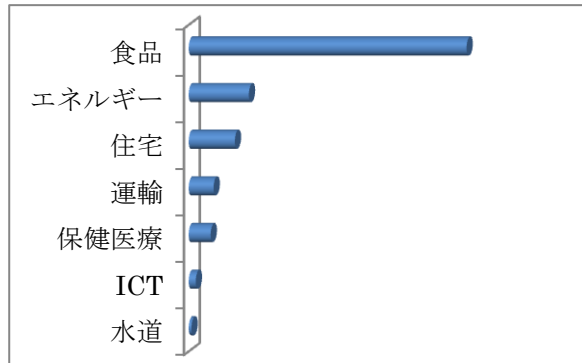
<BOP ビジネス事例③> (企業 URL : <http://www.honda.com.br/web/>)

この課題を解決した方法が「コンソルシオ」ⁱⁱⁱと呼ばれる販売方法である。ブラジルに生産拠点を構えるモトホンダ・ダ・アマゾニアは、低所得者でも二輪車を購入できるように、60人が1組となって、毎月一定金額を積み立て、1台ずつバイクを買い、くじ引きで当たった人から順番に引き取っていくという仕組みをつくった。一時期、販売した50万台のうち、約半数の25万台はこのコンソルシオによって販売されたこともある。ホンダは路面状況の悪いブラジルにおいて、耐久性の高い車種を開発し、消費者から高い評価を得ていて、BOP人口が70%のブラジルにおいて、08年時点での二輪車市場シェアの約70%をホンダが占めている。

【ハ. 水道分野】：推計 200 億ドル

- ・ BOP 水道市場は他の産業分野の市場規模に比べると、圧倒的に規模が小さい^{iv}。
- ・そもそも BOP 世帯の多くは水を手に入れる為に払っていない。
- ・アフリカの BOP 世帯の多くは、水資源を主に地表水や安全かどうかかわからない井戸に依存する。
- ・都市では移動水販売業者から購入するという方法が見られるが、調査によると、その料金は公共水道サービスの 8~16 倍であると報告されている。

【グラフ③ 産業別 BOP 市場規模】



⇒しかし、これは逆に家庭での浄水を可能にする手頃な水の濾過・殺菌装置あるいは家庭用水処理システムなどのニーズがあることを示し、実際、低所得層に安全な水を供給するための事業に対して、対価を払うことができると報告されている。

<BOP ビジネス事例④> (企業 URL : <http://jp.pg.com/>)

安全な水を提供するためのビジネス・モデルとして有名なのが、消費材大手の Procter & Gamble (P&G) の PUR である。P&G は米国疾病管理予防センターと協力して、希釈タイプの漂白用製品を製造し PUR という製品名で市場に提供。0.1 米ドル程度で買える小さな袋に入った白い粉を、10 リットルの水に入れてかき混ぜ、少し時間をおいた後に布でこすことによって、水が浄化され、安全な飲料水をつくり出すことができる。

しかし結果的にこの事業は商業ベースでは失敗し、現在は慈善事業として行われている。事業化段階において、現地でのニーズを周到に確認したのだが、製品化され売り出されても現地の人々は結局購入しなかった。現地の人々にとって、お金を払ってまで水を手に入れようとするのに躊躇いがあったのだ。このように水を手に入れる為に払うという価値観の変化を起こせなければ、水道市場の広がり難しい。

<次回予告> 「BOP ビジネス～市場分析と実践～②」

ⁱ 『次なる 40 億人』 Allen L. Hammond, William J. Kramer, Robert S. Katz, Julia T. Tran, Courtland Walker 世界資源研究所 国際金融公社 2007

ⁱⁱ それゆえ、薬局その他薬品を入手できる場が保健医療の最前線を担っている場合が多く見られる。

ⁱⁱⁱ いわゆる日本の「無尽」と同じで、日系のブラジル移民が持ちこんだのではないかとも言われていて、もともとブラジルにあったもの。

^{iv} ICT 分野は今著しく成長している為、現在の市場規模は計り知れない。ICT 分野についての詳細は次回のレポートで紹介する。

参考資料

- ・ 『次なる 40 億人』 Allen L. Hammond, William J. Kramer, Robert S. Katz, Julia T. Tran, Courtland Walker 世界資源研究所 国際金融公社 2007
- ・ 社団法人日本自動車工業会
<http://www.jama.or.jp/lib/jamagazine/200106/12.html>
- ・ 『PREDIDENT 「500 兆円「ネクストマーケット」の全貌」』 2010 2.15 号 プレジデント社
- ・ 「BOP 戦略研究フォーラム」 <http://bopstrategy.blogspot.com/>
- ・ 「What is BOP?」 <http://bop-design.com/>